

京都COC+フォーラム2019

地域と ともにいきる

日時：2019.2.8(金)
13:30～17:00(受付開始12:30～)

会場：京都文教大学
(京都府宇治市槇島町千足80)

申込不要 / 参加費無料

① 基調講演

「地域」にとって教育効果の高いプログラムの実践
～「実践型」、「起業家型リーダー育成」の
インターンシップの事例に見る地域が育む人材の輩出～

講師：伊藤 淳司 氏 (NPO法人ETIC. ローカルイノベーション事業部 事業部長)
瀬沼 希望 氏 (NPO法人ETIC. ローカルイノベーション事業部 サブマネージャー)

② シンポジウム

「地域」で働くこと、学ぶこと、生活すること
地域でともに生きるために

③ ポスターセッション

京都COC+事業参加大学・高専の取り組み紹介

【主催】 京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都学園大学、京都文教大学、舞鶴工業高等専門学校

【後援】 京都府、京都市伏見区、宇治市、城陽市、久御山町、宇治田原町、精華町、京都府教育委員会、京都市教育委員会、宇治市教育委員会、久御山町教育委員会、精華町教育委員会、公益社団法人京都工業会、丹後機械工業協同組合、京都中小企業家同友会、滋賀県中小企業家同友会、京都経営者協会、舞鶴商工会議所、福知山商工会議所、綾部商工会議所、宮津商工会議所、亀岡商工会議所、宇治商工会議所、城陽商工会議所、久御山町商工会、宇治田原町商工会、精華町商工会、特定非営利活動法人グローバル人材開発センター、一般社団法人京都府北部・大学連携機構



京都COC+フォーラム2019 地域とともにいきる

【プログラム】

- 12:30 受付開始、
ポスターセッション
コアタイム①
- 13:30 開会挨拶
来賓挨拶
趣旨説明
- 13:50 基調講演
- 14:50 休憩
ポスターセッション
コアタイム②
- 15:10 シンポジウム
- 16:40 閉会挨拶
アンケート記入
- 17:00 終了

【基調講演】 13:50~14:50

「地域」にとって教育効果の高いプログラムの実践 ～「実践型」、「起業家型リーダー育成」の インターンシップの事例に見る地域が育む人材の輩出～

講師：伊藤 淳司 氏 (NPO法人ETIC. ローカルイノベーション事業部 事業部長)
瀬沼 希望 氏 (NPO法人ETIC. ローカルイノベーション事業部 サブマネージャー)

「地方の人口流出」が話題となって久しいが、地域を活性化するための能力や熱い志を持つ人はまだまだ「地方」に潜在している。大学は、そうした人々や団体など多様な主体を繋ぐ役割を果たし、正課教育(カリキュラム)構築においても協働し、地域社会の構築、地域人材の輩出を目指さなければならない。

地域の活性化やデザインを担う人材を輩出するには、いわゆる座学で得た知識だけでなく、実社会の事情や状況に即した「現場」経験も併せ持つことが必要である。その際の「現場」となる、企業、自治体など地域社会においては、課題や意識、目標の共有、人材育成を受け入れる土壌が整っているか(あるいはその努力をしているか)が重要となる。また、人材は大学生や高校生などの「若者」に限ったことではなく、受け入れる「現場」側の人たちにしても、ともに育みあうことで、新たな「気づき」や「学び」を得る可能性を十分に秘めている。

本講演では「実践型」、「起業家型リーダー育成」を実施しているNPO法人ETIC.の取組や事例を中心に講演をいただき、高等教育機関におけるカリキュラムの中で、地域とともに、地域で人材を育成する地域構造・基盤の創造に向けて意識を共有する。



【伊藤 淳司 氏】

愛知県名古屋出身。早稲田大学教育学部卒。1997年からETIC.に参画し、日本初の長期実践型インターンシップ「アントレプレナー・インターンシップ・プログラム(EIP)」の事業立ち上げに携わる。コーディネーターとして、これまで500社以上の実践型インターンシップを活用した人材育成、少数精鋭組織のコンサルティングに関わる。



【瀬沼 希望 氏】

新潟県小千谷市生まれ。大学在学中より、新潟にて地域コーディネート団体の立ち上げに参画。地域の中小企業と大学生のインターンシップのコーディネート業務に従事。ETIC.参画後はチャレンジ・コミュニティ・プロジェクトにて「若者×地域×挑戦」をテーマに主に自治体・大学との連携プロジェクト、各地のコーディネーター育成業務を担当。

【シンポジウム】 15:20~16:40

「地域」で働くこと、学ぶこと、生活すること 地域とともに生きるために

日本社会全体の労働者人口の減少により、中小企業の多くは人手不足に悩んでいる。人材確保に向けて、企業のみならず、行政や経済団体は様々な取組を実践している。また、教育機関においても、地元企業や行政と連携したインターンシップを実践するなど、大学卒業後の進路選択を意識し、教育活動の一環として実社会において「働くこと」、「地域社会で生きること」のスキルを伸ばすプログラムを実施している。

本シンポジウムでは、大学と行政、地元経済団体・企業が取り組んできた連携事業を振り返りながら、「地域」を「創生」する人材を輩出するために実行可能な今後の展開についてディスカッションする。

- パネリスト：池村 隆兆 氏 (京都府山城広域振興局 農林商工部 部長)
中村 基彦 氏 (丹後機械工業協同組合 専務理事)
渡邊 博子 氏 (株式会社スリーシー 代表取締役 社長、京都中小企業家同友会伏見支部長)
宮川 草平 氏 (宮川ハネ工業株式会社 代表取締役 社長、滋賀県中小企業家同友会 求人委員会副委員長)
伊藤 淳司 氏 (NPO法人 ETIC. ローカルイノベーション事業部 事業部長)
瀬沼 希望 氏 (NPO法人 ETIC. ローカルイノベーション事業部 サブマネージャー)

コーディネーター：森 正美 (京都文教大学総合社会学部 教授、京都文教大学地域協働研究教育センター長)

【アクセス】

- ・JR、近鉄、地下鉄「京都」駅から、近鉄京都線「向島」駅下車(普通のみ停車、約20分)
- ・近鉄向島駅からはスクールバス(無料)をご利用ください
- ・来場者用の駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください

【お問合せ】 京都文教大学社会連携部フィールドリサーチオフィス

Tel: 0774-25-2630 Fax: 0774-25-2822 e-mail: fro@po.kbu.ac.jp

住所: 〒611-0041 京都府宇治市榎島町千足80

